

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

【第73回】初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）掲載 マナビー・メールマガジン掲載

柳井市しらかべ学遊館放課後子ども教室

～高校との連携 「夏休みべんきょう会」～

しらかべ学遊館放課後子ども教室 コーディネーター 瀧山 絹代

「しらかべ学遊館放課後子ども教室」では、初めての活動「夏休みべんきょう会」を行いました。

本放課後子ども教室は、市内の小学生を対象に、活動を通して、学校の垣根を越えた交流や地域の幅広い世代との交流を促進するため、月2回の土曜日に実施しています。地域に残る昔の遊びを体験する活動が主で、各分野で活躍している地域の方、教員OB、子ども会ジュニアリーダーなどがスタッフとして指導や支援に当たり、一緒に活動をすることで交流しています。

今年度初めて取り組んだ「夏休みべんきょう会」は、高校生と勉強する活動を通して、異校種間の子ども同士の交流を促進するとともに、活動の活性化や充実を図るものです。2日間の活動で、参加者の延べ人数は、高校生7名、児童49名、教員OB12名でした。子どもが大好きで将来教員をめざしているという高校生は、子どもたちの理解のペースに合わせて上手に教え、子どもたちは程よい緊張感をもって、集中して学んでいました。休憩時間になると互いに打ち解けたことで話がはずみ、和やかな交流の場となっていました。高校生は「教えるという場がないので、よい経験になった。」「将来の目標に自信がもてた。」「教えた後、『ありがとう。』と言われてうれしかった。」など、教えることの楽しさや難しさ、人と関わることの大切さなどを実感する機会となりました。25年度は、市内全ての高校に協力をお願いし、3日間の「夏休みべんきょう会」を実施したいと考えています。

「放課後子ども教室」が子どもたちの居場所であるだけでなく、子どもたちを始め、集まった人々が交流をしながら、それぞれが人間として大事なものを感じ取り、豊かに生きることの大切さを実感できる場となるように今後も活動していきたいと思えます。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第226号に掲載）

（マナビー・メールマガジン第48号に掲載）